

目次

はじめに.....	5
-----------	---

第1章序論：翻訳者の文体.....	9
1 文体および翻訳者の文体	9
2 研究方法	10
2.1 量的および質的アプローチ	10
2.2 本書で構築したコーパス.....	11
3 翻訳者劉慕沙について	12
4 本書の構成	16

第2章翻訳の文体研究の理論背景.....	19
1 文体研究	19
1.1 文体論とコーパス文体学	19
1.2 日本における計量文体学	21
2 翻訳研究における文体研究	22
2.1 原文中心の文体研究	22
2.2 訳文中心の文体研究	24
2.2.1 翻訳者の「声」	25
2.2.2 コーパスに基づいた翻訳者の文体研究	26
2.2.3 物語論または認知言語学の「視点」分析	28
2.2.4 翻訳者文体への影響要因	33
2.3 台湾や中国における翻訳者の文体研究	35
3 結び	36

第3章 原文との対照から見られる翻訳者個人の文体.....

1	はじめに
2	本章で用いたコーパス
3	原文から翻訳文への語数変化分析
4	安本(1965)に基づいた文体分析
4.1	日本語原文の文体特徴
4.2	中国語翻訳の文体特徴
4.2.1	名詞の使用率
4.2.2	直喻の使用
4.2.3	括弧でくくられた会話文の数
4.2.4	文・節あたりの平均語数
5	考察
6	結び

第4章 翻訳作品と創作作品の差異に関する翻訳者の文体

1	はじめに
2	翻訳作品と創作作品の差異に関する先行研究
3	本章で使用したコーパス
4	文体分析
4.1	文体特徴の基本情報:語彙と文・節の長さ
4.1.1	語彙多様性
4.1.2	文・節の平均的長さ
4.2	品詞構成の特徴
4.3	特異に使用される特徴語について
4.3.1	中国語の助詞と「被」の使用
4.3.2	中国語の接続詞と因果関係を表す言葉の使用
5	考察
6	結び

第5章 n-gramから見られる翻訳者の文字のつらなり

1	はじめに
---	------------

2 n-gramの手法と翻訳文体の研究.....	83
3 本章で使用したコーパス.....	86
4 分析と考察	86
4.1 データ調査	86
4.1.1 中国語翻訳作品と創作作品におけるn-gramの使用	86
4.1.2 中国語翻訳作品に共通したn-gramの文字列	88
4.1.3 日本語原文作品に共通したn-gramの文字列	90
4.2 事例分析.....	91
4.2.1 研究事例 I :翻訳作品に見られた特殊な文字列	91
4.2.2 研究事例 II :翻訳と創作作品に共通した文字列	97
4.2.3 考察:特殊文字列と「語彙プライミング」理論	100
5 結び	102

第6章直喻と四文字語使用に見られる翻訳者の文体..... 103

1 はじめに.....	103
2 先行研究	105
2.1 作家の文体の特徴を表すレトリック——直喻	105
2.2 中国語固有の特徴——四文字語.....	107
3 本章で使用したコーパスおよび分析方法	109
4 分析と結果	111
4.1 原作者の直喻表現とその翻訳	111
4.1.1 直喻の抽出.....	111
4.1.2 直喻の分析結果.....	116
4.2 翻訳の中国語における四文字語の使用	121
4.2.1 四文字語の抽出方法.....	121
4.2.2 四文字語の頻度と分布	124
5 考察および翻訳観の検証	127
6 結び	130

第7章語りの文体：中国語の「這・那」に基づいた翻訳者の 「注視点」に関する一考察 133

1	はじめに
2	指示詞と「視点」
2.1	中国語の指示詞「這・那」
2.2	日本語の指示詞「こ・そ・あ」について
2.3	日中の指示詞の対照研究
2.4	指示詞と「注視点」
3	研究方法
4	分析と考察
4.1	三つの中国語訳における指示詞「這・那」の使用
4.1.1	全体的な使用頻度
4.1.2	「こ・そ・あ」に対応する中国語翻訳
4.1.3	中国語翻訳「這・那」の対応する原文
4.1.4	「這・那」の翻訳方法
4.2	翻訳と創作コーパスにおける「這・那」の使用分析
5	考察
6	結び

第8章まとめ

参考文献

付録 I	本書で使用したコーパスの出典
付録 II	劉慕沙の翻訳作品一覧
付録 III	劉慕沙の翻訳・創作コーパスの品詞出現率